



「エレキギターリベンジャー」
松本公民館運営審委員長
加藤 英明

大学生の頃、有名ロックバンドのギターヒーロー達に憧れて始めたエレキギターでしたが、結局うまく弾けずに卒業とともにロックスターへの道は諦めました(笑)。

日々の仕事に追われながらも、いつかもう一度挑戦したいと思い続けて30余年、ここが最後のチャンスと思い、近所のギター教室の門をたたき早や3年、週に1度の教室と、毎日の練習をかかさず弾き続け、「あの頃」挑戦する事も出来なかった曲が弾けるようになっていました。楽譜を覚えるのは若いころの10倍以上かかりますが、忍耐力は100倍にアップしておりますゆえ…(笑)。デビューまでの道のりは遠いですが時間はまだまだあります。



私の趣味(好きな事)

東安居公民館運営審委員長
竹内 清

私には人に自慢するほどの趣味はありません。強いて言えば、鉄道が好きです。でも「撮り鉄」とか「乗り鉄」と言われる程のマニアではありません。

ではどんな事が好きかというと、「鉄道ファン」「鉄道ビクトリアル」といった鉄道雑誌を読み、仕事等で県外(首都圏・関西圏等)に出かけた時など、記事になっていた優等列車や新造車両に乗る事。そして、目的地までの鉄道を利用した移動を方法、インターネットを利用せずにJTBやJRの時刻表を見て最適方法を立てる事です。



門松の作成

西藤島公民館運営審委員長
谷口 晴伸

公民館の門松を作成しました。ここ数年先輩方の後を引き継ぎ作成しています。材料については、竹、松、ササは私が、紅白の南天は近所の方及び有志の方から、ハボタンは購入しています。できるだけ安価に仕上げるため、今年も有志約10名が参加してくれました。和気あいあいと、話し合いながら約2時間で仕上げました。



運審連委

サロン

写真は無限大

一光公民館運営審委員長
嶋田 茂

私の趣味は写真とビデオ撮影です。以前は一眼レフ今はデジカメで撮影しています。一眼レフの時は自分で考えながら撮影し、レンズとフィルムなど色々変えながら(リバーサルフィルム)撮影しました。ビデオはNHKのクラブに入り勉強させて頂きました。孫達のイベントなどデジカメとビデオ撮影で奮闘しています。



公民館玄関を飾る門松づくり

宮ノ下公民館運営審委員長
片川 秀則

わが地区には、男子団体組織に壮年会、銀齢会があります。私が現在所属する銀齢会は年齢が60歳~75歳となっていて現在会員数30名程で令和3年度より私が会長を預かって活動・運営に携わっています。標記の門松づくりの発端は毎年11月末にマスコミに取り上げられます大安禅寺の記事です。そこでそれより先に門松をつくり、マスコミに取り上げてもらうとのことで作成しましたが不発でした。

今年で作り始めて7・8年継続して公民館玄関を飾って新年を迎えています。今年もみぞれ降る中、山から孟宗竹を切り出し、切り口が笑顔になるように節を揃えて加工、職人が作成した門松に負けない素晴らしい門松が完成、公民館玄関を飾ることができ新年を迎えることができます。

今後も継続して作成していきたいと思えます。



私のとっておきの趣味

文殊公民館運営審委員
杉本 確治

私は雅楽の龍笛の演奏をする趣味を、40年ほど続けています。神社仏閣をはじめ地域などに出向くことで、今まで数えきれない人達と繋がってきました。これからは、雅楽を通しての繋がりやご恩を忘れることなく、地域の皆さんから親しまれる演奏を届けたいと思います。



文殊小学校「雅楽体験学習」

編集後記

令和3年度後半は、「市長と語る会」と開催が心配された「東海北陸公民館大会」、そして2年ぶりの調査研究委員会の公民館訪問が感染予防をしっかりと行って予定通り実施できました。令和4年度こそは、コロナに打ち勝った公民館活動ができることを願っています。広報委員の皆さん2年間ありがとうございました。

2022年(令和4年)2月17日発行

運審連だより
きずな

第69号



福井市公民館運営審議会連絡会

事務局 中央公民館内
福井市手寄1-4-1 アオッサ5階
TEL20-5459・FAX20-1538



和田発展不已

わだはってんやまず

.....わだは発展してやまない

- ①地域みんなで助け合いの輪
- ②きれいなまち並み緑の輪
- ③みんな生き生き元気の輪
- ④楽しく暮らせる福祉の輪
- ⑤見守りてつなく安心安全の輪
- ⑥共に育む学びの輪
- ⑦笑いあふれる交流の輪

ふれあいまつり2021
希望を照らす竹あかりモニュメント

和田公民館 駐車場内(2021.11.3 竹あかり点灯式)

第43回全国公民館研究集会
第56回東海北陸公民館大会福井大会
第70回福井県公民館大会
に参加して

運営審議会連絡会 会長 **江川 政博**

令和3年11月11・12日に上記公民館福井大会が開催されました。

本来ならば昨年度、令和2年度に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が蔓延し警戒宣言が発せられ、急遽延期となりました。本年もコロナ禍が収まらず開催が危ぶまれていましたが、幸い10月頃からようやく沈静化して開催することが出来ました。

従来ですと約1,500名の参加者数ですが、今回は参加人数を絞り約500名の大会となりました。11月11日フェニックス・プラザに於いて、オープニングのマリンバとハーブ演奏のあと、第1日は全体会が開かれ、会場内は十分なソーシャルデスタンスをとり522名での開会式となりました。

中村大会実行委員長（文殊公民館長）の“開会のことば”で、はじまり、主催者挨拶として東海北陸公民館連合会 江岸会長（木田公民館長）、公益社



団法人全国公民館連合会 中西会長の挨拶があり、そのあと令和3年度の各表彰式がありました。来賓祝辞として

杉本福井県知事より、主催地の東村福井市長からは“歓迎のことば”を頂きました。その後、文部科学省施策説明があり、記念公演としてフレンチレストランmorceau（モルソー）オーナーシェフ・ふくいきブランド大使の秋元さくら氏と元NHKアナウサー村松真貴子氏のトークセッションがありました。終わりに大会宣言文が読み上げられ、福井県公民館連合会 堀副会長（鯖江・中河公民館長）より“閉会のことば”があり終了しました。

第2日目11月12日は 5会場に分かれ分科会が開催されました。

- 第1分科会 “地域づくりと公民館”
ハピリンホール
- 第2分科会 “家庭・学校・地域との連携”
県教育センター
- 第3分科会 “高齢社会と公民館”
県国際交流会館
- 第4分科会 “文化の継承・発展”
県国際交流会館
- 第5分科会 “地域防災と公民館”
フェニックス・プラザ

運審連からは2日間通して参加された延べ143名の運審委員の皆様大変おつかれ様でした。次回大会は通常通り開催されるよう祈念いたします。



「市長と語る会」に参加して

運営審議会連絡会 副会長 **深草 光夫**

10月6日（水）10:30～12:00 アオッサ研修室にて、市公連・運審連合同の、「市長と語る会」が、昨年引き続きコロナ感染症対策として人数制限を設け34名の参加にて開催されました。運審連からのテーマ

1. 災害時避難所運営と防災訓練の在り方
 2. 若者の地域活動への参加について
- の2点について市長の考えと行政としての対応策等を語って頂きました。

本年度もコロナ禍の中での行政対策が、地域に即



した避難所運営・防災訓練に生かし切れずに困っている公民館の立場等、又若者

の地域活動への参加についても、今一度地域地域での対応策を運審と公民館で考え市へ提案していただけらと感じました。

調査研究委員会より

調査研究委員会 委員長 **深草 光夫**

11月26日（金）河合公民館へ視察研修させて頂きました。

河合地区の概要とコロナ禍での公民館活動について、平井館長にご説明頂き、LINEを活用した防災事業について、藤田主事に熱く語って頂きました。内容につきましては調査研究委員会報告書をご覧ください。



木田地区

木田遺跡で弥生人になろう 木田公民館

運審委員 **東 正一郎**

木田地区まちづくりビジョン「木田のまちづくり笑顔 × 居心地 × 誇り」の取組みとして、ふるさとの歴史を楽しく学ぶため、令和3年10月2日、子ども歴史まち探検「木田遺跡で弥生人になろう」を開催しました。弥生時代からひとびとが生活していた木田では、発掘調査で集落遺跡が発見され、今も公園の下にタイムカプセルのように埋められています。二千年も前の歴史を、知識の押しつけにならないように、どうやって子どもたちに実感してもらえるか。福井市文化財保護課と福井県立子ども歴史文化館の学芸員の協力をいただき、発掘された本物の土器などの展示、古代の家の大きさを表現する試み、火おこしや勾玉づくりなどを工夫して、弥生時代の暮らしを想像しながら学びました。子どもたちの生き生きとした目の輝きが学びの成果です。



竹の楽器で古代の音楽を楽しもう



昔の人はどうやって火をおこしていたの？



本物の土器に触れる子どもたち

円山地区

一歩ずつ前進

円山公民館

運審委員長 **近藤 靖至**

円山地区には、まちづくり活動に取り組んでいる円山CMBというグループがあります。CMBはCircle（サークル）Mountain（マウンテン）Build（ビルド）の頭文字を取って名付けられました。円山地区で円（繋がりの輪・ご縁・お金）の山を築くを目標に活動しています。

最近主には円山リゾート米を地元の農家さんに作って頂き、地区の方々と一緒にイベントを盛り上げたり販売をしたりしています。また円山小学校の児童と一緒にリゾート米の田植え体験や稲刈り体験、大東中学校の生徒とイベントや地元のお祭りでのリゾートの振る舞いや



苗植え体験をする子どもたち



夏祭りで販売するライスバーガー作りの説明を受ける中学生たち

販売に協力頂きながら活動を知ってもらい交流をしています。（現在はコロナにより販売イベントは出来ていません）

地区の色々な世代との繋がりの輪、また地区外の方とのご縁をこれからも大切にして、誰もが気軽に参加できる楽しい活動になればと思います。

令和4年度より地域おこし協力隊の方がCMBの活動に参加してくれます。販売についても今まで以上にワクワクする活動になって、目標に一歩ずつ近づけたら嬉しいです。